

# 日本語ラオス語・ラオス語日本語辞典 アンドロイド版のご使用に当たって ການອະທິບາຍວິທີໃຊ້ວັດຈະນານຸກົມ ຍີ່ປຸ່ນ-ລາວ ລາວ-ຍີ່ປຸ່ນ ສໍາລັບ Android

まず初めに断わっておきますが、この辞典は一般に公開されている音声学や日本語文法に沿っているわけはありません。また、例文は文法構造に重点を置いていますので、普通に使う言い回しとは異なるものが多くあります。しかし、日本人がラオス語を、ラオス人が日本語をできるだけ簡単に理解したり発音できるように工夫していますので、ここに書かれた説明をよく読んでから使うことをお勧めします。ラオス人に必要な部分はラオス語で、日本人に必要な部分は日本語で説明しています。

ກ່ອນອື່ນຫນົດອາດຈະປະຕິເສດບໍ່ໄດ້ວ່າວັດຈະນານຸກົມເຫລົ່ານີ້ບໍ່ໄດ້ໃຊ້ວິທີການອອກສຽງ ແລະຫລັກໄວຍາກອນທີ່ໃຊ້ສອນພາສາຍີ່ປຸ່ນໃນໂຮງຮຽນສອນພາສາຍີ່ປຸ່ນໂດຍທົ່ວໄປ. ປະໂຫຍກຕົວຢ່າງໃນນີ້ແມ່ນເພື່ອໃຫ້ເຂົ້າໃຈຫລັກໄວຍາກອນສະນັ້ນຈຶ່ງມີຫລາຍປະໂຫຍກທີ່ບໍ່ໄດ້ໃຊ້ໃນການສົນທະນາໂດຍທົ່ວໄປ. ແຕ່ໄດ້ຄິດອອກວ່າຄົນຍີ່ປຸ່ນສາມາດເວົ້າພາສາລາວໄດ້ ແລະຄົນລາວກໍສາມາດເວົ້າພາສາຍີ່ປຸ່ນໄດ້. ສະນັ້ນກະລຸນາອ່ານການອະທິບາຍທີ່ຂຽນຢູ່ໃນນີ້ເພື່ອຄວາມສະດວກໃນການໃຊ້ ເຊິ່ງໄດ້ມີທັງການອະທິບາຍເປັນພາສາລາວສໍາລັບຄົນລາວ ແລະການອະທິບາຍເປັນພາສາຍີ່ປຸ່ນສໍາລັບຄົນຍີ່ປຸ່ນ

**ラオス語は声調記号抜きで検索してください。  
ໃນເວລາຊອກຫາຄໍາສັບພາສາລາວບໍ່ຈໍາເປັນຕ້ອງ  
ໃຊ້ເຄື່ອງຫມາຍວັນນະຍຸດກໍໄດ້**

## I. 発音:(ການອອກສຽງ)

ラオス語と日本語の発音はかなり違うので、初心者でなくても、なかなか、うまく発音できません。しかし、それぞれにいくつかのポイントがあり、それをマスターすると、聞き取りは難しくても、相手に分かる発音をすることができます。

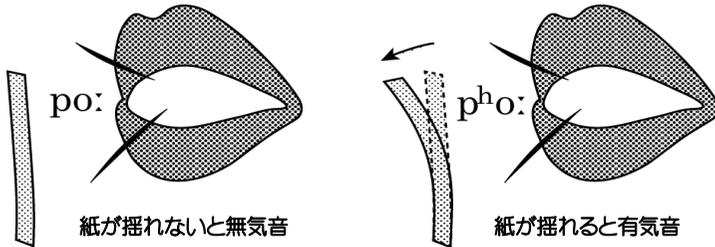
ການອອກສຽງລະຫວ່າງພາສາລາວ ແລະພາສາຍີ່ປຸ່ນຂ້ອນຂ້າງບໍ່ຄືກັນ ສະນັ້ນ ແມ່ນແຕ່ຄົນທີ່ຢູ່ໃນລະດັບເລີ່ມຕົ້ນກໍຈະບໍ່ສາມາດອອກສຽງໄດ້ຢ່າງຖືກຕ້ອງ. ແຕ່ເຖິງຢ່າງໃດກໍຕາມ ຄິດວ່າໃນທຸກໆພາສາລ້ວນແລ້ວແຕ່ມີຈຸດສໍາຄັນ ສະນັ້ນຖ້າວ່າເປັນຜູ້ທີ່ຊຶ່ງຂຽນແລ້ວ ແມ່ນແຕ່ຟັງຍາກກໍຈະສາມາດອອກສຽງໄດ້ຢ່າງຖືກຕ້ອງແລະເຮັດໃຫ້ຄູ່ສົນທະນາສາມາດເຂົ້າໃຈໄດ້.

### 1.1 ラオス語の発音:(ການອອກສຽງຂອງພາສາລາວ)

ラオス語の発音は日本語と同じように、人によって個人差があります。ここにある説明はビエンチャン出身の私の生徒の発音を参考にして、日本人にも発音しやすいように工夫しています。ラオス語の音節は頭子音、母音、末尾子音と声調からなります。頭子音や末尾子音のない音節もありますが、母音と声調は必ずあります。英語で言うと「book」の「b」が頭子音、「oo」が母音で「k」が末尾子音です。

### 1.1.1 頭子音の発音：(ການອອກສຽງຂອງພະຍັນຊະນະ)

子音には有気音と無気音があり、多くの日本人にとって厄介なものです。たぶん、ラオス人に聞いても、うまく教えてもらえません。しかし、ポイントを押さえればかなりうまく発音できると思います。例えば、「ポー」の場合、唇を閉じたところからいきなり「オー」と言えば無気音の「ポー」、唇を閉じた状態から「プッ」と息を出すと同時に「ポー」と言うと有気音の「ポー」になります。幅1センチぐらいの紙片を口の前で持って発音すると分かります。



子音の発声方法を説明するのに、子音だけでは発音できないので、ここでは母音の「オー[o:]」を付けて説明しています。実際はこの子音と母音を組み合わせて発音することになります。

ກ	ko:	日本語の「コー」の無気音
ຂ	k <sup>h</sup> o:	日本語の「コー」の有気音
ຄ	k <sup>h</sup> o:	日本語の「コー」の有気音
ງ	ŋo:	日本語の「番号(バンゴー)」の「ゴー」
ຈ	cho:	日本語の「チョー」または「ジョー」
ສ	so:	日本語の「ソー」
ຊ	so:	日本語の「ソー」
ຍ	nyo:	日本語の「ニョー」
ດ	do:	日本語の「ドー」
ຕ	to:	日本語の「トー」の無気音
ຖ	t <sup>h</sup> o:	日本語の「トー」の有気音
ທ	t <sup>h</sup> o:	日本語の「トー」の有気音
ນ	no:	日本語の「ニョー」
ບ	bo:	日本語の「ポー」
ປ	po:	日本語の「ポー」の無気音
ຜ	p <sup>h</sup> o:	日本語の「ポー」の有気音
ຝ	fo:	日本語の「フォー」
ພ	p <sup>h</sup> o:	日本語の「ポー」の有気音
ຟ	fo:	日本語の「フォー」
ມ	mo:	日本語の「モー」
ຍ	yo:	日本語の「ヨー」
ຣ	ro:	日本語の「ロー」 発音記号は「ro:」であるが「lo:」と同じ発音でよい
ລ	lo:	日本語の「ロー」
ວ	wo:	日本語の「ウォー」
ຫ	ho:	日本語の「ホー」
ຫງ	ŋo:	日本語の「番号(バンゴー)」の「ゴー」
ຫຍ	nyo:	日本語の「ニョー」
ຫນ	no:	日本語の「ノー」
ຫມ	mo:	日本語の「モー」
ຫລ	lo:	日本語の「ロー」

ທົວ	wo:	日本語の「ウォー」
ອ	o:	日本語の「オー」
ສ	ho:	日本語の「ホー」

この中に、同じ発音がいくつかあります。これらは、子音自体の発音は同じですが、声調が異なります。これ以外に「ໂວ」[k<sup>h</sup>wo:]のような二重子音がありますが「<sup>h</sup>カワー」という感じで短く読めば問題ありません。

### 1.1.2 母音の発音:(ການອອກສຽງຂອງສປທລປ)

母音をいきなりラオス文字で書くと混乱しますので、ここでは発音記号で説明します。発音記号は日本人がうまく発音できるように、日本語の母音を基本に特別に作りました。説明通り、きっちり発音するとラオス語ネイティブにかなり近いものになると思います。母音には短母音と長母音があります。例えば短母音の「a」は「アツ」という感じで息を一瞬止めますが、気にしないで普通に「ア」と発音します。「:」が付くと長母音になり「a:」は「アー」と発音すれば良いでしょう。基本母音は9個で、それぞれに短母音と長母音があり、5つの二重母音があります。

a	a:	日本語の「ア」
i	i:	日本語の「イ」
u <sub>i</sub>	u <sub>i</sub> :	口(ກ)の形を日本語の「イ」にして、「ウ」と発音する
u <sub>o</sub>	u <sub>o</sub> :	口(ກ)の形を日本語の「オ」にして、「ウ」と発音する
e	e:	日本語の「エ」
e <sub>a</sub>	e <sub>a</sub> :	口(ກ)の形を日本語の「ア」にして、「エ」と発音する
o	o:	日本語の「オ」
o <sub>a</sub>	o <sub>a</sub> :	口(ກ)の形を日本語の「ア」にして、「オ」と発音する
a <sub>i</sub>	a <sub>i</sub> :	口(ກ)の形を日本語の「イ」にして、「ア」と発音する。英語の曖昧母音と同じ
ia	ia:	「i」と「a」を続けて発音する
ua <sub>i</sub>	ua <sub>i</sub> :	「u <sub>i</sub> 」と「a」を続けて発音する
ua <sub>o</sub>	ua <sub>o</sub> :	「u <sub>o</sub> 」と「a」を続けて発音する
ai		「a」と「i」を続けて発音する
ao		「a」と「o」を続けて発音する

### 1.1.3 末尾子音の発音:(ການອອກສຽງຂອງພປຍັມຂຸນພປ)

音節の末尾に付く子音は8音あります。英語と違って末尾子音のあとで口から息を吐くことはなく、ほとんどが息を止めた状態で終わるので注意が必要です。

- ກ k 「kon」を付けた積りで「kon」を発音しません。例えば、「mekon」を日本語の「メコン」と言うつもりで「kon」を発音しないと、ラオス語の「mek」の発音になります。「メック」ではなく、のどの奥で息を止めた状態で終わらせます。
- ງ ŋ 「nga」を付けた積りで「ga」を発音しません。例えば、「honga」を日本語の「本が」というつもりで「ga」を発音しないと「honŋ」の発音になります。「ホング」ではなく、唇を開き、舌は口の中で歯茎や歯にくっ付けない宙ぶらりんの状態で、鼻から息を抜いた感じで終わらせます。
- ຍ y 「i」を短く付けます
- ຕ t 「ton」を付けた積りで「ton」を発音しません。例えば、「niton」を日本語の「2トンの積りで「ton」を発音しないとラオス語の「nit」になります。「ニット」ではなく、舌を上歯茎にくっ付けた状態で終わらせます。
- ນ n 日本語の普通の「ン」です。例えば、「本の」というつもりで「no」を発音しないとラオス語の「hon」の発音になります。唇を開き、舌を上歯茎にくっつけて、鼻から息を抜いた感じで終わらせます。
- ປ p 「pon」を付けた積りで「pon」を発音しません。例えば、ラオス通貨の「ກີບ(ki:p)」の発音は「(灘の)生一本(きいっぽん)」というつもりで最後の「pon」を発音しません。唇を閉じた状態で終わらせると、ラオス語の「ki:p」になります。
- ມ m 日本語の唇を閉じた状態の「ン」です。例えば「本も」の「mo」を発音しないで鼻から息を抜くと、ラオス語の「hom」になります。

o w 「y」を短く付けます。

### 1.1.4 声調:(ລະດັບສຽງ)

声調も日本人にとって難問ですが、実は関西の言葉には声調があります。関西人であれば「日」、「火」、「比」の違いが分かるはず。これが基本3声調です。ピエンチャンの声調は6種類あります。日本人には難しいですが、これを基本3声調に無理やり減らしても、ほぼ通じます。ここでは、例として日本語の「コー」の発音を、音楽の「ド」「レ」「ミ」を使った説明と、東京と大阪のイントネーションを参考にした説明をします。この辞書では「-」「~」「/」「\」「^」「v」「^」の発音記号を使っていますが、基本は「上がる」、「下がる」、「平ら」のどれかです。

	<音楽>	<東京>	<大阪>
1) ko:~	「ド」→「ド」	猫を(ne-ko-o)	猫を(ne-ko-o)
2) ko:-	「レ」→「レ」	公園(ko-o-en:)	公園(ko-o-en:)
3) ko:~	「ミ」→「ミ」	ここを(ko-ko-o)	子(ko-o)
4) ko:/	「ド」/「ミ」	子を(ko-o)	粉(ko-o)
5) ko:\	「ミ」\「ド」	甲(ko-o)	甲(ko-o)
6) ko:~	「レ」\「ド」	※ 甲(ko-o)	※ 甲(ko-o)
7) ko:~	語彙(単語)の途中の音節では[ko:~], 末尾の音節では[ko:~]となります。		

※ 6)は 5)より低いところから始まりますが、とりえず無視しましょう。

### 1.1.5 同じ音節の連続:(ການໃຊ້ເຄື່ອງໝາຍຊ້າໃນພະຍາງສອງໂຕທີ່ຄືກັນ)

同じ音節が続く場合、ラオス語では「ㄅ」を使いますが、発音記号では「<sup>^</sup>」を使います。「ຫລາຍຫລາຍ」は「ຫລາຍ<sup>^</sup>」で、発音記号は[la:y<sup>^</sup>la:y<sup>^</sup>]ではなく[la:y<sup>^</sup>la:y<sup>^</sup>]となります。

## 1.2 ການອອກສຽງຂອງພາສາຍີ່ປຸ່ນ:(日本語の発音)

ໃນພາສາຍີ່ປຸ່ນການອອກສຽງແຕ່ລະພະຍາງເອີ້ນວ່າຈັງຫວະ. ເຊິ່ງແຕ່ລະຈັງຫວະມີໄລຍະເວລາຄືກັນ. ພະຍາງມີ3ຊະນິດຄື: ພະຍາງທີ່ມີພະຍັນຊະນະ ແລະສະຫລະ, ພະຍາງທີ່ມີສະຫລະໂຕດຽວ ແລະພະຍາງທີ່ມີພະຍັນຊະນະສຽງຍາວ. ອັກສອນໂຣມັນໃນພາສາຍີ່ປຸ່ນມີຫລາຍຊະນິດ ແຕ່ວ່າໄດ້ເລືອກໃຊ້ອັນທີ່ບໍ່ຍາກເພື່ອໃຫ້ຄົນລາວສາມາດອອກສຽງໄດ້ງ່າຍ. ເຄື່ອງໝາຍຂີດຕໍ່ “-” ໃນການອອກສຽງຂອງພາສາຍີ່ປຸ່ນແມ່ນເພື່ອໃຫ້ອ່ານງ່າຍສະນັ້ນຈຶ່ງບໍ່ຈໍາເປັນຕ້ອງອ່ານກໍໄດ້.

### 1.2.1 ການອອກສຽງຂອງສະຫລະ:(母音の発音)

ສະຫລະມີພຽງແຕ່5ຊະນິດ ແລະອອກສຽງບໍ່ຍາກ.

あ	ア	a	“ອະ”
い	イ	i	“ອິ”
う	ウ	u	“ອູ”
え	エ	e	“ເອະ”
お	オ	o	“ໂອະ”

### 1.2.2 ການອອກສຽງຂອງພະຍັນຊະນະ:(子音の発音)

ການອອກສຽງຂອງພະຍັນຊະນະກໍບໍ່ຍາກຄືກັນກັບສະຫລະ ແຕ່ສໍາພັນມີບາງສຽງທີ່ບໍ່ມີໃນພາສາລາວ ສະນັ້ນຈຶ່ງຈະອະທິບາຍບາງສຽງທີ່ບໍ່ສາມາດອອກສຽງໄດ້ຢ່າງງ່າຍ.

ໂດຍພື້ນຖານແລ້ວ ບໍ່ມີພະຍັນຊະນະທີ່ເປັນພຽງແຕ່ພະຍັນຊະນະຢ່າງດຽວເທົ່ານັ້ນ ແຕ່ມີພະຍັນຊະນະທີ່ສາມາດອອກສຽງເປັນສະຫລະໄດ້. ພະຍາງທັງໝົດທາງລຸ່ມນີ້ມີ1 ຈັງຫວະ.

か	カ	ka	“ຄະ”
が	ガ	ka	“G” ໃນ “God” ໃນພາສາອັງກິດ ໃຊ້ກັບສະຫລະ “ອະ” ແຕ່ອອກສຽງເປັນ “ງະ” ກໍໄດ້
し	シ	shi	“ຊິ”
ざ	ザ	za	“z” ໃນ “zebra” ໃນພາສາອັງກິດ ໃຊ້ກັບສະຫລະ “ອະ”
じ	ジ	ji	“ji” ໃນ “jigsaw” ໃນພາສາອັງກິດ
ち	チ	chi	“Ch” ໃນ “China” ໃນພາສາອັງກິດ ໃຊ້ກັບສະຫລະ “ອິ”

つ	ツ	tsu	“ຕຊິ” ໃນ “ເຮັດຊຶງ”
きや	キヤ	kya	ອອກສຽງ “ຄື” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
ぎや	ギヤ	gya	ອອກສຽງ “ຊ້” ໃນພາສາຍີ່ປຸ່ນແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
しゃ	シャ	sha	ອອກສຽງ “ຊຶ” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
じゃ	ジャ	ja	ອອກສຽງ “ຮ” ໃນພາສາຍີ່ປຸ່ນແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
ちゃ	チャ	cha	“Ch” ໃນ “China” ໃນພາສາອັງກິດ ໃຊ້ກັບສະຫລະ “ອະ”
ぢや	ぢヤ	ja	ຄືກັນກັບ “ジャ” ໃນພາສາຍີ່ປຸ່ນ
にや	ニヤ	nya	ອອກສຽງ “ນີ” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
ひや	ヒヤ	hya	ອອກສຽງ “ຫີ” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
ぴや	ピヤ	pya	ອອກສຽງ “ປີ” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
びや	ビヤ	bya	ອອກສຽງ “ບີ” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
みや	ミヤ	mya	ອອກສຽງ “ມີ” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
りや	リヤ	rya	ອອກສຽງ “ລີ” ແລະ “ຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
フユ		fyu	ອອກສຽງ “ຟີ” ແລະ “ຢີ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
シェ		she	ອອກສຽງ “ຊຶ” ແລະ “ເຢະ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ
ティ		di	“ດີ”
デュ		dyu	ອອກສຽງ “ດີ” ແລະ “ຢີ” ເປັນສຽງ1ຈັງຫວະ

### 1.2.3 ພະຍັນຊະນະສຽງຍາວ: (長子音)

ພະຍັນຊະນະສຽງຍາວມີທັງຫມົດ8ໂຕ. ໃຊ້ອັກສອນຮີລາງານະ「ㄨ」ຫລືຄາຕາຄານະ「ㄨ」ໂຕນ້ອຍສຳລັບສຽງ「k:」 「s:」 「ta:」 「p:」 「f:」 ແລະຈະບໍ່ໃຊ້ຢູ່ທາງຫລັງຂອງຄຳສັບ. ໃຊ້ອັກສອນຮີລາງານະ「ㄨ」ຫລືຄາຕາຄານະ「ㄨ」ສຳລັບສຽງ「n:」 「m:」 「ŋ:」 ແລະສາມາດໃຊ້ຢູ່ທາງຫລັງຂອງຄຳສັບໄດ້.

ທັງຫມົດນີ້ມີໄລຍະເວລາຂອງການອອກສຽງ1ຈັງຫວະສະນັ້ນຈຶ່ງຕ້ອງມີຄວາມລະວັງໃນເວລາໃຊ້ ເຊັ່ນ:

- にっき [nik:ki] ບໍ່ແມ່ນສຽງ2ຈັງຫວະແບບ “ນິກ+ຄື” ແຕ່ແມ່ນສຽງ3ຈັງຫວະແບບ “ນິ+ກ:ຄື”
- きつぷ [kip:pu] ບໍ່ແມ່ນສຽງ2ຈັງຫວະແບບ “ກິບ+ປີ” ແຕ່ແມ່ນສຽງ3ຈັງຫວະແບບ “ກິ+ບ:ປີ”
- ベット [bet:do] ບໍ່ແມ່ນ “ເບັດ+ໂຕະ” ແຕ່ແມ່ນ “ເບະ+ດ:ໂຕະ”
- にっし [nis:shi] ບໍ່ແມ່ນ “ນິສ+ຊຶ” ແຕ່ແມ່ນ “ນິ+ສ:ຊຶ”
- かなな [kan:na] ບໍ່ແມ່ນ “ຄັນ+ນະ” ແຕ່ແມ່ນ “ຄະ+ນ:ນະ”
- あんま [an:ma] ບໍ່ແມ່ນ “ອັນ+ມະ” ແຕ່ແມ່ນ “ອະ+ມ:ມະ”
- まんが [man:ga] ບໍ່ແມ່ນ “ມັນ+ງະ” ແຕ່ແມ່ນ “ມະ+ງ:ງະ”
- ほん [hon:] ບໍ່ແມ່ນ “ຫົນ” ແຕ່ແມ່ນ “ໂຫະ+ນ:”

### 1.2.4 ສະຫລະສຽງຍາວ: (長母音)

ສະຫລະສຽງຍາວແມ່ນສະຫລະທີ່ມີສຽງ2ຈັງຫວະ ແລະມີທັງຫມົດ໑໒໐໕໓໓ a:」 「i:」 「u:」 「e:」 「o:」. ເຊິ່ງແຕ່ລະໂຕບໍ່ແມ່ນການອອກສຽງແບບຕົວຢ່າງຕໍ່ໄປນີ້ “ອາ”, “ອີ”, “ອູ”, “ເອ”, “ໂອ” ແຕ່ແມ່ນການອອກສຽງຄ້າຍໆຕົວຢ່າງຕໍ່ໄປນີ້ “ອະ+ອະ”, “ອີ+ອີ”, “ອູ+ອູ” “ເອະ+ເອະ”, “ໂອະ+ໂອະ” ເຊັ່ນ:

- おおさか [o:saka] ບໍ່ແມ່ນ “ໂອ+ຊາ+ກະ” ແຕ່ແມ່ນ “ໂອະ+ໂອະ+ຊາ+ກະ”
- こうこう [ko:ko:] ບໍ່ແມ່ນ “ໂຄ+ໂຄ” ແຕ່ແມ່ນ “ໂຄະ+ໂຄະ+ໂຄະ+ໂຄະ”
- スカート [suka:to] ບໍ່ແມ່ນ “ສື+ຄາ+ໂຕະ” ແຕ່ແມ່ນ “ສື+ຄະ+ອະ+ໂຕະ”
- シート [shi:to] ບໍ່ແມ່ນ “ຊຶ+ໂຕະ” ແຕ່ແມ່ນ “ຊຶ+ອີ+ໂຕະ”

### 1.2.5 ສະຫລະຄວບ: (母音の連続)

ໃນພາສາຍີ່ປຸ່ນບໍ່ມີສະຫລະຄວບ ສະນັ້ນຖ້າມີພະຍັນຊະນະ2ໂຕຈະມີສຽງ2ຈັງຫວະເຊັ່ນ:

- あいする [aisuru] ບໍ່ແມ່ນທັງ “ໂອ+ສື+ລື” ແລະບໍ່ແມ່ນທັງ “ອາຍ+ສື+ລື” ແຕ່ແມ່ນ “ອະ+ອີ+ສື+ລື”
- みあい [miai] ບໍ່ແມ່ນທັງ “ເມຍ+ອີ” ແລະບໍ່ແມ່ນທັງ “ນິ+ໂອ” ແຕ່ແມ່ນ “ນິ+ອະ+ອີ”
- あおい [aoi] ບໍ່ແມ່ນ “ເອົາ+ອີ” ແຕ່ແມ່ນ “ອະ+ໂອະ+ອີ” .



- 1) 「...」ແມ່ນອັກສອນຄັນຈີທີ່ຢູ່ໃນຕາຕະລາງ “ໂຈໂຍຄັນຈີ” ທີ່ກະຊວງສຶກສາຂອງປະເທດຍີ່ປຸ່ນກຳນົດວ່າເປັນອັກສອນຄັນຈີທີ່ໃຊ້ໃນຊີວິດປະຈຳວັນ.
- 2) ໃຊ້「～良(よ)い」ແທນ「～いい」.
- 3) 「が」ໃນຕົວຢ່າງ「気分(きぶん)が良(よ)い」ຢູ່ນເປັນ「の」ແລ້ວຈະໄດ້「気分(きぶん)の良(よ)い」ຫລືຖ້າຖືມ「が」ກໍຈະໄດ້「気分(きぶん)良(よ)く」ແລະຈະກາຍປັນກິລິຍາວິເສດ.
- 4) ຄຳກຳມະການ ຕົວຢ່າງ「掃除(そうじ)する」ອາດຈະກາຍເປັນ「掃除(そうじ)をする」ໃນປະໂຫຍກ.

### III. 辞書で使用する記号:(ເຄື່ອງໝາຍທີ່ໃຊ້ໃນວັດຈະນານຸກົມ)

<記号(ເຄື່ອງໝາຍ)> : <意味(ຄວາມໝາຍ)>

- N** : 名詞 (ຄຳນາມ)  
めいし
- ㊦** : 「の」で連体形を作る名詞 (ຄຳນາມທຳມະດາ)  
れんたいけい つく めいし
- ㊧** : 「な」で連体形を作る名詞、形容動詞、状態名詞、ナ形容詞 (ຄຳນາມອາການ)  
れんたいけい つく めいし けいようどうし じょうたいめいし けいようし
- ㊨** : 「に」や「にも」を付けて副詞化する名詞 (ກາຍເປັນກິລິຍາວິເສດດ້ວຍ「に」ຫລື「にも」)  
つ ふくしか めいし
- ㊩** : 代名詞 (ຄຳແທນນາມ)  
だいめいし
- ㊪** : 人を表す名詞 (ຄຳນາມຂອງຄົນ)  
ひと あらわ めいし
- ㊫** : 物をあらわす名詞(必要なときのみ) (ຄຳນາມທີ່ໃຊ້ສຳລັບສິ່ງຂອງ)  
もの めいし ひつよう
- ㊬** : 国名 (ຊື່ປະເທດ)  
こくめい
- : 代表的な都市 (ເມືອງໃຫຍ່)  
だいひょうてき とし
- ㊭** : 動作名詞 (ຄຳນາມການ)、サ行変格活用動詞(サ変動詞)  
どうさめいし ぎょうへんかくかつようどうし へんどうし
- ㊮** : 疑問詞 (ຄຳຖາມ)  
ぎもんし
- ㊯** : 形容詞 (ຄຳຄຸນນາມ)  
けいようし
- ㊰** : 連体詞(連体形の語も含む) (ຄຳຂະຫຍາຍຄຳນາມ)  
れんたいし れんたいけい ご ふく
- ㊱** : 自動詞 (ຄຳກຳມະຄົບ)  
じどうし
- ㊲** : 他動詞 (ຄຳກຳມະຂາດ)  
たどうし
- ㊳** : 動詞、連語の動詞 (ຄຳກຳມະປະສົມ)  
どうし れんご どうし
- ㊴** : コピュラ (ຄຳເຊື່ອມ)  
こぴゅら
- ㊵** : 副詞(連用形の語も含む) (ກິລິຍາວິເສດ)  
ふくし れんようけい ご ふく
- ㊶** : 日本語の助詞、後置詞 (ຄຳລົງທ້າຍ)  
にほんご じょし こうちし
- ㊷** : ラオス語の前置詞 (ຄຳບຸບພະບົດ)  
ご ぜんちし
- ㊸** : ラオス語の助詞(助動詞や品詞の特定できないもの) (ຄຳຊ່ວຍ)  
ご じょし じょどうし ひんし とくてい
- ㊹** : 接頭辞 (ຄຳຕໍ່ຫນ້າສັບ)  
せつとうじ
- ㊺** : 接尾辞(日本語の助動詞も含む) (ຄຳຕື່ມທ້າຍສັບ)  
せつびじ にほんご じょどうし ふく
- ㊻** : 接続詞 (ຄຳຕໍ່)  
せつぞくし
- ㊼** : 助数詞 (ລັກສະນະນາມ)  
じょすうし
- ㊽** : 間投詞 (ຄຳອຸທານ)  
かんとうし
- ㊾** : 慣用句、連語 (ຄຳນວນ)  
かんようく れんご
- タイ** : タイ語 (ພາສາໄທ)  
たいご
- コソ** : コソアド (ຊື່ບອກເຊັ່ນ: ນີ້-ນັ້ນ-ຫຍັງ)

- ㊦ : 丁寧語 (ຄໍາສຸພາບ) ていねいご
- ㊧ : 何 (ຈັກ) なん
- ㊨ : 文 (ປະໂຫຍກ) ぶん
- [ ] : 発音記号 (ເຄື່ອງໝາຍຂອງການອອກສຽງ) はつおんきごう
- ㊩ : 例文 (ປະໂຫຍກຕົວຢ່າງ) れいぶん
- ㊪ : 名詞句や熟語の例 (ຕົວຢ່າງທີ່ເປັນວະລິນາມຫລືຄໍາປະສົມ) めいしきくじゆくご れい
- ㊫ : 動詞の語尾変化 (ການແຈກຄໍາກຳມະ) どうし ごびへんか
- ㊬ : ナイ形 (ຮູບໄນ: ຮູບປະຕິເສດ) けい
- ㊭ : マス形 (ຮູບມາສ: ຮູບສຸພາບ) けい
- ㊮/㊯ : タ形 (ຮູບຕາ: ຮູບສົມບູນ) けい
- ㊰ : 辞書形 (ຮູບວັດຈະນານຸກົມ) じしょけい
- ㊱ : バ形 (ຮູບບາ: ຮູບສົມມຸດ) けい
- ㊲ : 命令形 (ຮູບຄໍາສັ່ງ) めいれいけい
- ㊳ : ウ形 (ຮູບວ: ຮູບຕ້ອງການ) けい
- ㊴ : ヨウ形 (ຮູບຍ໋ວ: ຮູບຕ້ອງການ) けい
- ㊵ : 五段活用動詞、第1グループ (ຄໍາກຳມະກຸ່ມທີ1) ごだんかつようどうし だいいち
- ㊶ : 上一段活用動詞、第2グループ (ຄໍາກຳມະກຸ່ມທີ2) かみいちだんかつようどうし だいに
- ㊷ : 下一段活用動詞、第2グループ (ຄໍາກຳມະກຸ່ມທີ2) しもいちだんかつようどうし だいに
- ㊸ : サ行変格活用動詞、第3グループ (ຄໍາກຳມະກຸ່ມທີ3) さぎょうへんかくかつようどうし だいさん
- ㊹ : カ行変格活用動詞、第3グループ (ຄໍາກຳມະກຸ່ມທີ3) かぎょうへんかくかつようどうし だいさん
- \* : 重要単語 (ຄໍາສັບສໍາຄັນ) じゆうようたんご
- \* : 日本語能力試験上級用単語 (ຄໍາສັບທີ່ໃຊ້ໃນການເລັ່ງວັດລະດັບພາສາຍີ່ປຸ່ນ) にほんごのうりよくしけんじゆうきゆうようたんご